※令和３年度以前入学生用

学校番号	1005

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	３年
使用教科書	「改訂版現代文Ｂ」（数研出版）						
副教材等	新版三訂　ニューエイジ現代文　完成３						

１ 担当者からのメッセージ

・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・社会に出たり進学したりする際に必要な国語力を身に付けてください。

２ 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	「知識社会という幻想」西垣　通 論旨を正確に追いながら筆者のいう「知」について読み取る。	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説	「舞姫」 森鷗外 描かれた時代背景と〈手記〉という形式に留意しながら、出来事の変遷と登場人物の心情の変化を読み取る。	◎	○		○	◎	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b：音読や話し合いを通して描写の理解を深める。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	評論	「環境と心の問題」河野哲也 論の展開と構成を把握して主張を捉え，環境問題と人間の関係について考えを深める。	◎			◎	○	a:考えの進め方や、論の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説	「檸檬」梶井基次郎 檸檬の描写や感覚的表現をとらえながら、書き手の意図や心情の推移を読み取る。	○		○	◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、感覚や想像を組み合わせた表現の美しさに気付こうとしている。 c:登場人物の心情の推移についてまとめ、自分の考えを伝えることができる。 d:主人公が檸檬をどのように感じ、どのような心の変化が起こったのかを読み取る e: 文章の形態や文体のちがいによる特色について理解している。	a:行動の観察 c:記述の確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定

※令和３年度以前入学生用

	評論	「メディアのテロル」 山田登世子 メディアを巡る筆者の問題意識を読み取り、自らの考えを深める。	◎	○		○	◎	a:筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。 b:音読や話し合いを通して描写の理解を深める。 d:どうして書き手がこのように問題提起しているのかを捉え、視野の拡大と思考の深化に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 b:行動の確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	詩歌	「顔の所有」鷲田清一 論の展開と構成を把握して主張を捉え，筆者の述べる「顔」について説明することができる。	○		○	◎	○	a: 考えの進め方や、論の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 c:関心をもった事柄などについて文章にまとめ、的確に伝えようとしている。 d: どうして書き手がこのように問題提起しているのかを捉え、視野の拡大と思考の深化に気付いている。 e:文章の形態や文体のちがいによる特色について理解している。	a:行動の観察 c:記述の確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。